

定規文注

告 稟

- 一、幼稚園及び小學校、家庭、育児、看護等に關する論說調査研究等の寄稿を歓迎いたします。
 - 一、寄稿は一行二十四字詰に記して下さい。但改行は一字下げること、また句讀點は一字あけること。
 - 一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新刊書、交換雜誌、入會手續、更に
 - 一、本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切左記編輯兼發行所宛に願ひます。
- 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内**
- 日本幼稚園協會**
- 一、本誌御注文の方は凡て前金（郵税共）で願ひます。（郵便代用の場合には總て一割増）
 - 一、御送金の場合にはなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
 - 一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし。
 - 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
 - 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に『前金切』の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
 - 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

價 定

一ヶ月分一冊	金參拾五錢	送料壹錢
半ヶ年分六冊	金貳圓拾錢	送料共
一ヶ年拾貳冊	金四圓貳拾錢	送料共

（外兩行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい）

昭和五年三月十二日印刷納本
昭和五年三月十五日發行

幼兒の教育 第三十卷第三號

不 許 復 製
禁 轉 載

編輯兼發行者 堀 七 藏
東京府豊多摩郡戸塚町大字戸塚五七五

印刷者 須 藤 紋 一
東京市麹町區飯田町二丁目五十番地

印刷所 京華社印刷所
東京市麹町區飯田町二丁目五十番地

發 行 所

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
日本幼稚園協會
振替口座東京一七二六六番

告 廣

特等面一頁 金參拾圓	二等面一頁 金貳拾圓
一等面一頁 金貳拾圓	一頁以下御斷

神田區南甲賀町八品田與松に御申込下さい。

廣島高等師範學校教授
久保良英
先生新著

兒童研究所紀要 卷十二

大判洋裝全一冊
定價金三百二十頁
定價金四拾五錢
定價金八拾錢

教育的に先進國たる歐米諸國に於ては、既に將來國家の構成に重要な位置を占むべき兒童を心理的、生理學的に研究して純然たる學理的立場から益々其効果を收めんと企て右施設の巨額の費用を擲つて惜まざる今日獨り我が邦に、該機關の絶無なるを概し、久保博士等同志が私財を投じて設立せられたる本研究所の貴重なる研究の發見は、恒に現代教育家の根柢的權威、最新智囊として學界に推獎せらるる

二十卷內容目次

- 性行検査法の試み
作業に現はれたる注意の形に就て
個性調査の情意的的一面
兒童の身體的及精神的に發育に及ぼす季節的影響の研究
精神發達に應ずる轉導及應時間の變化
尋常小學校に於ける算術應用問題の分類
一般智能検査の再検査成績
入學當初智能検査に關する研究的考察一二
青年期に於ける自己意識に就て
海外新著論文抄録
- 文士 久保良英
文士 桐原葆見
文士 追田マツ
文士 内田勇三郎
文士 久保良英
文士 小林一澄
文士 増田幸一
文士 久保良英

兒童研究所紀要

智能検査定用具

ボレル紙型箱入
一組參圓送料拾八錢

智詰の査定が手輕に出来る。兒童研究所
紀要の實際的研究唯一の用具。

團體的的智能検査用紙BA式

大判全二冊
定價各冊參錢

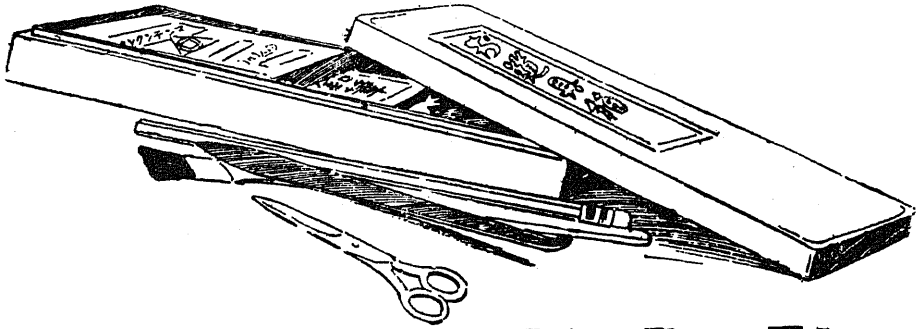
本用紙は久保先生の考案になる兒童行詰
検査用紙團體的の用

- | | | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 合輯 |
| 洋綴・背皮・無數一千百餘頁 | 洋綴・背皮・無數一千百餘頁 | 洋綴・背皮・無數一千百餘頁 | 洋綴・背皮・無數一千百餘頁 | 洋綴・背皮・無數一千百餘頁 |
| 定價九圓 | 定價九圓 | 定價九圓 | 定價九圓 | 定價九圓 |
| 5 | 6 | 7 | 合輯 | 合輯 |
| 洋綴・背皮・無數一千百餘頁 | 洋綴・背皮・無數一千百餘頁 | 洋綴・背皮・無數一千百餘頁 | 洋綴・背皮・無數一千百餘頁 | 洋綴・背皮・無數一千百餘頁 |
| 定價拾圓 | 定價拾圓 | 定價拾圓 | 定價拾圓 | 定價拾圓 |
| 8 | 9 | 10 | 合輯 | 合輯 |
| 洋綴・背皮・無數一千百餘頁 | 洋綴・背皮・無數一千百餘頁 | 洋綴・背皮・無數一千百餘頁 | 洋綴・背皮・無數一千百餘頁 | 洋綴・背皮・無數一千百餘頁 |
| 定價拾圓 | 定價拾圓 | 定價拾圓 | 定價拾圓 | 定價拾圓 |

發行所 東京市牛込區中野文館書店 電話 三三三三 番 五二四八三三

東京女子高等師範學校附屬幼稚園御案創

お 道 具 箱



◎園児方に御買はせ下さい◎

日本幼稚園協會編

◆ヌリエ

輪廓をうささない様にクレオンで塗ると云ふ作業が、微細筋の練習となり、やがて總ての作業の素地を作るのであります。本年は色刷の塗方見本を添えます。

定 價 一 號・二 號 共 金 三 十 錢

◆自由畫帳

八頁綴、内十二頁色畫紙。

幼兒をして自由自在に繪を描かせる、満洒たる冊子、四十

定 價 一 號 金 二 十 錢 二 號 金 十 錢

東京女子高師附屬幼稚園御案創

◆お道具箱

クレオン、鉛筆、糊づけ、粘土ペラ、ノリペラ、鉄等を収めた丈夫で美しい整理箱。園児にも父兄にも必ず喜ばれる品。

定 價 大 金 九 十 錢 小 金 六 十 錢

お道具箱とぬり糸の由來

倉橋惣三氏の談

「お道具箱」や「ぬり糸」を、東京女子高師附屬幼稚園で、使はせ初めたのは私であります。是等は入園の際に保護者に話して各自に買はせるのであります。これについては凡そ左の三つの理由を挙げる事が出来ます。

- 一、此の費用を材料費に充つ
 - 一、自己所有物に對する訓練
 - 一、幼稚園終了後の紀念品とする
- 右等の意味に於て私は常に、お道具箱や、ぬり糸、並に自由畫帳を、各自に買はせる様常に奨励してゐるのであります。

發 賣 元

株式會社 フレーベル館
 東京・神田・一橋通(教育會館内)

電話九段(御註文用)三八二七
 三四五・三六三・三三三・四八〇
 練 筆 東 京 一 九 六 四 〇

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
 (毎月一回十五日發行)

昭和五年三月十二日印刷納本
 昭和五年三月十五日發行

定 價 三 十 五 錢